

平成 29 年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月19日実施)	総合評価(3月29日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	○ハイレベルな文武両道により、高い学力と豊かな人間性を育む。	①学科改編に伴う普通科・スポーツ科学科の教育課程を精査し、検証を行う。 ②体育を特色としたさまざまな学習指導の取組みを行う。	①普通科では国語・数学・英語を充実させる。スポーツ科学科では専門的な内容の教育課程に基づいた授業を実施する。 ②入学前および長期休業時に体力課題を課し日常的に体力向上、健康増進に取り組ませる。日常的な電子機器等で健康データを確認する。	①充実した教育課程に基づき、実施できたか。 ②体力課題の取組を継続できたか。機器等で健康データを確認できたか。	①生徒による授業評価においては入学当初に比べると全体的にレベルは上がっていることがわかる。特に家庭学習においては2割程度増えていることから、学習に対する意識の向上がうかがえる。スポーツ科学科では専門的な内容の教育課程を編成することができた。 ②入学前および長期休業時に体力課題を課し日常的に体力向上、健康増進に取り組ませる意識づけをした。日常的な電子機器等で健康データを確認した生徒が10.0%であった。	①将来の目標を持たせつつ日々の課題や週末課題を課すことによって、毎日の授業を充実させ、さらに家庭学習の定着を図る。 ②引き続き、日常的に体力向上、健康増進に取り組むよう啓発する。健康データの確認者が増えるように指導する。	・スポーツ科学科の発展が重要。 ・スポーツ科学科では、スポーツ ICT、IoT、AI、健康なども視野に入れてほしい。企業でもそういう部署がある。大学もそれを視野に入れて動いている。 ・最近では学校に勢いが出てきていると感じる。	・学校目標を設定して、着実に実行している。 ・平成29年度から毎日6時間授業にしっかり取り組んでいる。 ・スポーツ科学コースでは卒業研究もしっかりと発表し、神奈川体育学会では4年連続で研究発表をしている。研究でも大きな成果をあげている。 ・英数国の週末課題を実施している。	・スポーツ科学科・コースと大学の連携を今後も続けていく。 ・スポーツ科学の論文を専門学科発表会や体育学会等で積極的に発表していく。 ・英数国の週末課題を今後も着実に実施していく。 ・ハイレベルな文武両道の推進と関連して、本校独自の深い学びのシステムについて検討していく。
2 生徒指導・支援	○部活動や行事に主体的に取り組み、自ら誇りを持ってのびやかで規律正しい生活を送る校風を維持する。	①規律正しい生活を維持できるよう指導、支援する。 ②部活動・行事における教育力、生徒の人間性、主体性の伸長を図る。	①HR指導、登下校指導や校外指導など教職員全員で、マナーやモラルの向上を指導、助言する。 ②厳しくも温かい生徒指導を実施するとともに、いじめ防止に関しては、日ごろから、素早く柔軟に対応する。 ③小中高連携及び地域連携によるあらたな部活動の可能性を模索する。	①生徒への指導が徹底できたか。生徒の規律性は保たれているか。 ②厳しくも温かい生徒指導を実施できたか、日ごろからいじめ防止に対して、素早く柔軟に対応できたか。 ③地域と連携した新たな取り組みに向け検討をどこまで進められたか。	①生徒指導については、全職員が共通認識、共通指導方法のもと、粘り強く行えた。 ②安心、安全な学校生活を送れるよう、交通安全、SNSの適切な使用方法、いじめ防止についての意識を高めた。 ③地域スポーツクラブと連携し、一部の部活動ではあるが定期的な合同練習、イベント支援等を試験的に始めた。	①校外での身だしなみ、交通マナーについて、自ら判断して行動できる力を養う。 ②学年会、グループ会議での情報を共有し、教育相談や支援体制を整えていくことが必要である。 ③合同練習、イベントの共催の機会を更に増やし、拡げ部活動を通じた地域との連携を深めていく。	・交通マナーについては、事故が起きてからでは困りますので、指導をお願いします。 ・スポーツ教室で北高生徒が小学生にスポーツを教える活動など、地域に高校生が貢献する取り組みは大変良いと思う。地域にとっても有益であり、地域の子供達とのふれあいを継続してほしい。	・マナーが良く、しっかりと挨拶ができる。授業では落ち着いて取り組んでいる。 ・交通安全教育については、危険箇所に出向いて指導を行っている。 ・部活動の交流など、高校生が中学生に指導したり、発表したりする機会も増やしている。	・マナー教育については、校門での朝指導、HR、集会での指導等を今後も引き続き指導を行っていく。 ・交通安全教育については、危険箇所に出向いて指導を行っているが、回数を増やすなど、今後も引き続き生徒の交通事故防止に向け指導の強化をしていく。 ・部活動の交流など、高校生が中学生に指導したり、発表したりする機会を継続して実施する。

3	進路指導・支援	○目標を持ち努力し続けることで一つ上の進路実現を目指す生徒を育てる。	①早期の目標設定、一つ上の進路実現を目指す進路指導を行う。	①進路の気づきの契機となる効果的な進路体験を実施する。 ②ガイダンスの充実により大学進学率を増やす。 ③ガイダンスの充実によりセンター試験受験者数を増やす。 ④体育系大学の指定校推薦枠を増やす。	①ガイダンス等で生徒に具体的な目標を持たせることができたか。 ②大学進学率を増やすことができたか。 ③受験者数を増やすことができたか。 ④体育系大学の指定校推薦枠を増やすことができたか。	①ガイダンス等で生徒に具体的な目標を持たせることができた。 ②センター試験受験者数が増加した。 ③大学進学率を1%増やすことができた。 ④体育系大学の指定校推薦枠を増やすことができなかった	①一般受験者の増加に伴い進学率も若干上がっているのでガイダンスの充実をより一層充実させる。 ②体育大学系の進学率を上げることによって体育系大学の指定校推薦枠を確保できるように努める。	・A0を含めて進学率を高く見積もって目標を持って学習してほしい。 ・進路実現に向けて、授業等熱意をもって教員は取り組んでいる。	・一般受験者の増加に伴い進学率も上がっている。 ・センター試験の受験数が着実に伸びてきている。 ・体育大学系の進学率を上げることによって体育系大学の指定校推薦枠を確保できるように努める。	・一般受験者の増加に伴い進学率も上がっている。ガイダンスを充実させ、平成30年度より新たにスタディサポートを実施することにより進路実現をより一層充実させる。 ・体育大学系の進学率を上げることによって体育系大学の指定校推薦枠を確保できるように努める。
4	地域等との協働	○地域の教育力を積極的に活用する。	①学科改編の情報を中学生、保護者に浸透させる。 ②地域と協働したグローバルな取り組みを行う。	①効果的な学校案内、わかりやすい学校説明会、ホームページにより浸透を図る。 ②厚木市など地域と協働して、留学生の受け入れ、国際交流等を実施する。	①十分な受検者数を確保できたか。 ②国際交流の取組を実施できたか。	①効果的な学校案内、わかりやすい学校説明会、ホームページにより、受験者数は確保できた。 ②厚木市など地域と協働して、短期留学実施について呼びかけたが、実施までにはいかなかった。	①効果的な学校案内、わかりやすい学校説明会については引き続き改善し、工夫する。ホームページについては、スポーツの取り組み等、タイムリーに広報できるよう工夫する。 ②厚木市などと協働して、国際交流の実施に向けて継続して働きかける。	・国際交流については、若いうちに見ることは大事。百聞は一見にしかず。それによって日本のよいところ悪いところを感じる事が大切。 ・厚木市と協働して留学生を募っている。 ・コミュニティースクールは地域の応援団なのでみんなで応援している。	・地域と連携したスポーツ活動を通して生徒のリーダーシップが向上している。 ・厚木市との教育連携も深まっており、ニュージーランドとの教育交流について継続して啓発していく。	・平成31年度からコミュニティースクールの協議会が開始されるので、今後も地域の協力を仰ぐ。 ・厚木市との教育連携も深まっており、ニュージーランドとの教育交流について継続して啓発していく。と同時に他国からの受け入れも積極的に推進する。
5	学校管理 学校運営	○生徒第一に安心安全かつ快適な教育環境整備を進める。 ○チームで学校を運営する。	①学科改編に伴う施設設備等の整備計画に基づいた設備改修を実施する。 ②チームとしての学校運営を推進する。	①学科改編に伴いよりハイレベルな学習環境（スポーツ総合演習室等）の設備改修を実施していく。 ②高校改革ワーキンググループで検討された内容について、適宜、進捗状況を報告し、グループ、学年、教科、部活動顧問等、すべてチームとして機能させる。	①学科改編に伴い、よりハイレベルな学習環境（スポーツ総合演習室等）の整備を実施できたか。 ②高校改革ワーキンググループで検討された内容について、適宜、進捗状況を報告し、グループ、学年、教科、部活動顧問等、すべてチームとして機能することができたか。	①学科改編に向けた整備計画として、各施設の修繕、および教室配置計画を検討した。 ②学校安全計画の再検討を進めた。	①高校改革等の予算により、さらに充実した教育環境整備を進める。 ②地域を含めた防災計画の再検討を進める。	・教育環境をさらによくしていくことが重要である。 ・地域との防災訓練について、教員と生徒が毎年参加しているので地域からも注目されている。	・スポーツ総合演習室等の整備を実施できた。 ・進路指導室を作り豊富な資料を置き、生徒が気軽に相談できるよう、スペース、時間を作っている。 ・地域の防災訓練に参加している。	・平成30年度も継続して、施設の改修をしていく。 ・地域の防災訓練に今後も継続して参加していく。